

2025 年 5 月 22 日

各 位

会社名 SBI グローバルアセットマネジメント株式会社
(コード番号 4765)

(上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)

代表者 代表取締役社長 朝倉 智也
開示責任者 執行役員 CFO 小笠原 靖行

SBI アセットマネジメントの更なる成長と持続的価値創造に向けた

業務運営体制の高度化について

当社グループの中核事業会社である SBI アセットマネジメント株式会社（以下「SBI アセット」）は、「顧客中心主義」の経営方針のもと、投資家の皆さまの資産形成に資する商品を提供するとともに、運用・管理体制においても安定的かつ高付加価値なサービスの実現を目指しております。投資家の皆さまの資産価値の最適化と最大化に向けて、業務運営体制のさらなる高度化に継続して取り組んでおります。

■ 着実な成長と投資家の皆さまからの高い支持

SBI アセットを中核とする SBI グローバルアセットマネジメント・グループの運用資産残高は、2025 年 3 月末時点で 6 兆 7,000 億円を突破し、過去 10 年で約 50 倍という飛躍的な成長を遂げました。2025 年 3 月期も前年比 13.1%増と、着実に二桁成長を継続しております。

特に、公募投信では 30%以上の資産増加を記録し、業界平均の約 3 倍という成長率を達成。2024 年度の第 4 四半期においては市場全体が調整局面にある中でも、約 2,400 億円の純資金流入を確保し、個人投資家の皆さまからの厚い信頼を背景に、安定した運用実績を積み重ねております。

また、私募投信についても、地域金融機関を中心とした取引拡大が進み、2025 年 3 月末時点で受託金融機関数は 154 社に達しました。厳しい市場環境下でも運用資産残高は年率 24.4%という高成長を維持し、業界平均の約 3 倍という成果を上げております。

このような成長の背景には、単なる短期的な販売チャネル拡大ではなく、運用の信頼性、コスト透明性、管理体制の質が着実に高まっていることへの市場からの評価があると認識しております。

■ 組織運営のさらなる高度化に向けた継続的な取り組み

当社では、事業規模の拡大に伴い、業務運営体制の見直しと強化を段階的に実施しており、各種業務フローや管理体制に対して、実効性ある整備を継続的に進めております。制度・手続きの形式的な整備にとどまらず、ガバナンスの文化を社内に浸透させることを目的に、組織的・持続的な改革を推進しています。

こうした改革は、投資家の皆さまに安心して長期的に託していただける環境を提供するための根幹であり、結果として、これまで当社の商品や運用に関して重大なトラブルや顕著なクレームが発生した事例は確認されておりません。これは、業務運営が安定的かつ適切に行われていることの証左であり、形式的な対応ではなく、実質的なガバナンス体制の強化が奏功しているものと考えております。

■ 運用・管理体制の整備状況と今後の強化方針

当社が実施している体制整備・高度化の取り組みは、以下のとおり各領域にわたっております。いずれの項目も、既に実施済または鋭意推進中であり、継続的に改善を重ねております。

1. 運用体制・運用モニタリングの高度化

各商品の特性に応じた運用方針の策定および体制整備を行い、国内外の株式・債券等の伝統的資産に加えて、オルタナティブ資産への対応力を強化するため、専門人材を招聘。これにより、単一の運用プロセスに依存しない柔軟かつ精緻な運用体制を構築しております。また、運用プロセスの遵守状況についても、商品別・戦略別の観点からモニタリング体制を拡充しており、改善項目に関しても順次対応を完了させています。

2. 内部管理・帳票管理・監査機能の整備

帳票の作成・保存を含めた業務記録の管理体制について、既に点検・是正対応を実施済。文書のトレーサビリティと管理整合性の確保を目指し、内部ルール of 明文化および実務への浸透を進めております。また、内部監査体制についても、年次計画に基づく全社的監査の実施とともに、改善提言とフォローアップ体制を組み込み、人材の確保も含めた監査の実効性を高める体制を構築済です。

3. 業務執行体制・情報開示体制・開示文書の管理高度化

業務の執行や開示書類の正確性・整合性を担保するため、社内の業務フローを見直し、効率性、堅確性や適時性の確保に向けた体制を強化。現在進展中のシステム統合のプラットフォームには、業務の効率化のための機能や、開示・報告の自動化や一元管理を可能とする設計も盛り込まれており、その完成後は、効率的かつ堅確な業務フローの確立を見込まれる他、情報開示についても一層の精緻化、効率化が実現される予定です。また、この分野での人材確保も進めております。

4. 苦情対応・コミュニケーション基盤の整備

投資家からの問い合わせ・ご意見に関しては、記録の一元化と定期的なレビューを通じて、対応品質の維持・向上を図っております。クレーム対応に関する管理体制についても、改善余地があった箇所は既に是正対応を済ませ、現在ではより迅速・丁寧な対応フローが確立されております。

■ 今後の展望とグループ目標に向けて

当社は、これらの実質的かつ持続的な体制整備を通じて、「形式」ではなく「実行」に裏打ちされたガバナンスを追求し続けております。今後も、全社的な組織文化として「顧客中心主義」を徹底し、投資家の皆さまにとって真に信頼できる運用パートナーとなるべく尽力してまいります。

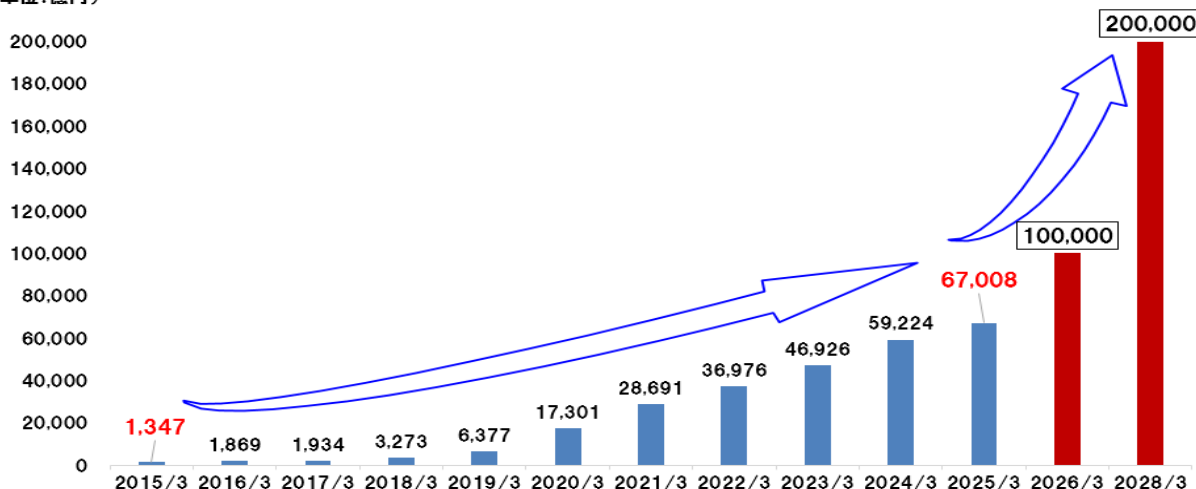
SBI グローバルアセットマネジメント・グループとして掲げる「2028 年 3 月末 運用資産残高 20 兆円」という目標達成に向けて、SBI アセットは中核企業として引き続き重要な役割を担い、持続可能な成長と企業価値の創造に向けて邁進してまいります。

以上

SBIグローバルアセットマネジメント・グループの運用残高の推移

- 運用残高は、2015年3月末の1,347億円から10年で約50倍の増加
- 2026年3月末に10兆円、2028年3月末に20兆円を目指す

(単位:億円)



業務運営体制の整備と強化計画

体制整備と強化 の重点3分野	2025年			
	～3月	4月-6月	7月-9月	10-12月
1. 専門人材の採用				
運用体制の整備強化	経験豊富な日本株ファンドマネジャー（FM） 1名と、オルタナティブ/デリバティブに精通 したFMを2名採用済		債券FM、株式FM、リスク管理スペシャリスト、コンプライアンススペ シャリストについて採用面接中	
リスク管理の強化	SBI新生銀行常務を採用済（リスク担当常務）			
コンプライアンスの強化	SESC元主任検査官を採用済（首席コンプライアンス）			
2. システム構築と導入				
基盤システムの統合	要件定義	属性整備、BPO対応	リハーサル	システム統合11/15
運用トレーディングシステム		要件定義		導入予定
リスク管理システム		要件定義	導入予定	
コンプライアンスモニター		要件定義	導入予定	
内部監査デジタル化		新年度で深化を推進		
3. 情報提供、発信の強化				
ウェブサイトの強化		NISAシミュレーション、リスク可視化、AIポート構築等のサービス提供検討		
SNS、動画の活用	現在も活用中	以下を念頭に改良中：①時間効率、幅広い投資家層、サービス内容の充実		

****【本件に関するお問い合わせ先】****
 SBI グローバルアセットマネジメント株式会社 管理本部 電話:03(6229)0812 メールアドレス: sbigam@sbiglobalam.co.jp
 SBI アセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話:03(6229)0170
 (金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号、加入協会:一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会)